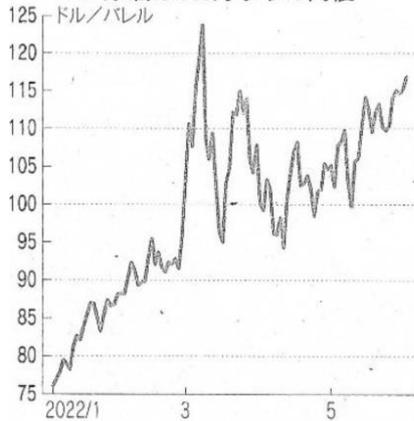


- 06/03・9月利上げ停止「困難」 FRB 副議長 0.5%継続も示唆
- ・原油増産拡大で合意 OPEC プラス 米要請に応じ 日量 64.8 万バレル <1>
従来の 43.2 万バレルから約 20 万バレル増 4 月ロシア計画に対して 134 万バレル未達
NY 原油上昇、一時 117 ドル台 供給不安なお 米の在庫減も買い要因
- 06/04・出生率 6 年連続低下 昨年 1.30、最低に迫る 出生数最小 対策、空回り
- ・人口維持には 2.06~07 必要 家事・育児、女性偏重続く 同じ役職でも賃金に格差
 - ・世界の石炭発電過去最大 ウクライナ侵攻、ガス代替需要 <2>
昨年、初の 10 兆キロワット時 気温上昇「1.5 度以内」目標に暗雲
 - ・米クリーブランド連銀総裁「9 月まで 0.5%利上げも」 NY 株反落 348 ドル安
 - ・NY 州、仮想通貨採掘制限 上院で法案可決 脱炭素に移行
- 06/05・米ガス高「シェール前」水準 先月末 14 年ぶり高値 欧州輸出で需給逼迫 <3>
- 06/06・企業・雇用支援、米欧区切り コロナ後見据え廃止・縮小 長引く日本 <4>
- ・米、対中関税下げ検討 商務長官「日用品など候補」
 - ・銃規制、割れる米国 リベラル州、厳格化 保守州、教職員向け緩和
- 06/07・円安 20 年ぶり 132 円台 日米金利差拡大で <5>
- ・4 月実質賃金 4 ヶ月ぶり減 1.2%マイナス、物価高響く
 - ・アジアで外貨準備減少 ドル高・資源高で通貨買い介入 金融市場波乱の芽に
- 06/08・ロシア原油 中印が下支え 買い手減り大幅安 米欧制裁、実効性薄れる <6>
- ・英首相、政権運営綱渡り 与党議員 4 割超が不信任 外出規制下でパーティ
 - ・人への投資 世界水準遠く 3 年で 4000 億円 骨太方針決定 生産性向上急務
 - ・EU、女性取締役登用義務 上場企業 社外 4 割以上 26 年半ばまでに対応
 - ・経常黒字 55%減 4 月、エネルギー高騰響く 貿易赤字 6884 億円 (前年同月は黒字)
米貿易赤字、4 月 15%減 輸出が過去最大 天然ガス・石油製品が伸び
 - ・ゼレンスキー氏、侵攻前境界が「暫定的勝利」
- 06/09・食料輸出規制 20 ヶ国に インド小麦やマレーシアの鶏肉 侵攻、自国優先に拍車
- ・政権批判を警戒 気候変動も要因
 - ・米「ウクライナを優位に」 対ロ停戦交渉 軍事支援強化で
 - ・米「対中関税を再構成」 財務長官、一部解除を示唆

<1>

NY原油は3ヵ月ぶりの高値



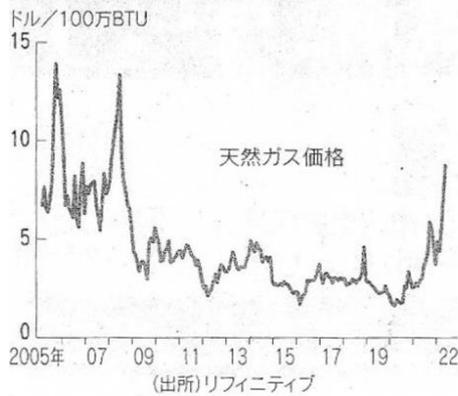
<2>

石炭火力の発電量が増えた主要な国



<3>

シェールガスの供給で低位安定してきた米国の天然ガス価格が急騰



<4>

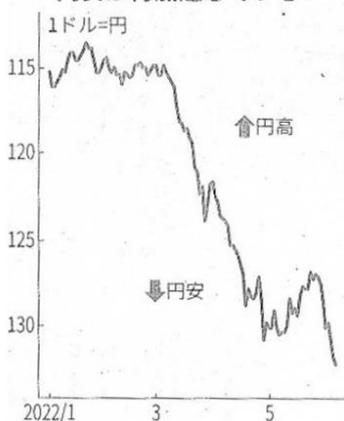
新型コロナに伴う各国の雇用支援策

	対策	期限
日本	雇用調整助成金 (5.5兆円)	期限は6月末だが延長表明
英国	雇用維持スキーム (11.4兆円)	21年9月に終了
ドイツ	操業短縮手当 (5.9兆円)	6月末まで
米国	給与保護プログラム (95兆円)	21年5月に終了

(注)労働政策研究・研修機構まとめ。米は融資返済免除額、金額は日本円換算(概算)

<5>

円安が再加速している



<6>

中国・インドのロシア産原油輸入量は増加傾向

